

経営比較分析表（令和3年度決算）

徳島県 海部病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	対象	訓	救 臨 感 へ 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
726,729	23,052	第2種該当	-	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

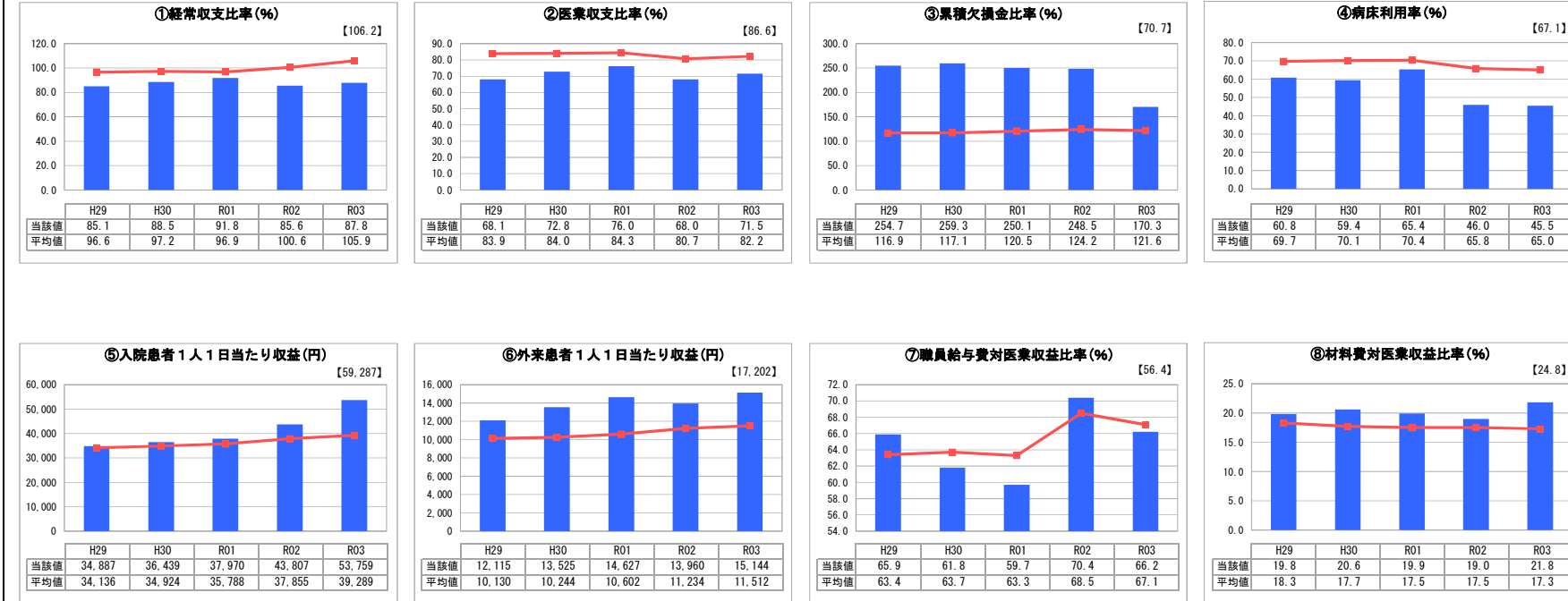
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
102	-	4
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	110
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
98	-	98

グラフ凡例

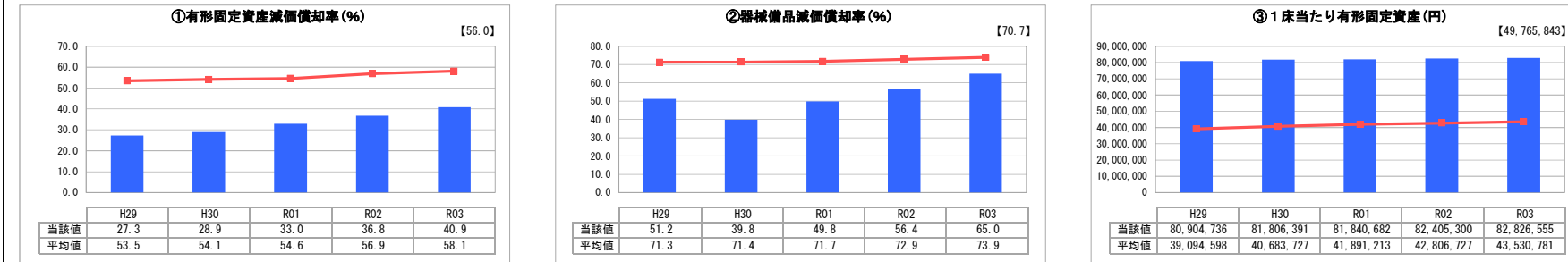
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

海部病院の主たる診療圏は、海部郡一円と高知県東部の一部であり、近年過疎化が進み、受診対象人口が減少しております。当病院は、地域における中核病院として、広く地域住民の医療需要に対応するため、救急医療等の不採算部門や高度特殊医療等の政策医療も担っております。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、② 医業収支比率
 地域医療の確保、経営の健全性による診療収益の増加により、平成29年度以降は改善傾向がみられておりますが、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による診療収益の減少により、平成29年度と比べて悪化傾向がみられております。

③ 累積欠損比率
 診療収益の増加に伴って不採算部門を閉鎖していることから改善傾向がみられており、令和2年度より大幅な繰上償却を実施しておりますが、令和3年度は高度特殊診療アパレルの導入による診療収益の増加により、平成29年度と比べて悪化傾向がみられております。

④ 病床利用率
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は地域包括ケア病院の導入による診療収益の増加により、平成29年度と比べて悪化傾向がみられております。

⑤ 入院患者1人1日当たり収益
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は地域包括ケア病院の導入による診療収益の増加により、平成29年度と比べて悪化傾向がみられております。

⑥ 外来患者1人1日当たり収益
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は地域包括ケア病院の導入による診療収益の増加により、平成29年度と比べて悪化傾向がみられております。

⑦ 職員給与費対医業収益比率
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は地域包括ケア病院の導入による診療収益の増加により、平成29年度と比べて悪化傾向がみられております。

⑧ 材料費対医業収益比率
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は地域包括ケア病院の導入による診療収益の増加により、平成29年度と比べて悪化傾向がみられております。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率～③ 1床当たり有形固定資産
 海部病院は、南海トラフ大地震による津波被害への抜本的対策として、高台への移転改築工事を行い、平成29年5月に新病院が開院し、これにあわせて器械備品の整備も行っているため、平成29年度以降は有形固定資産と器械備品の減価償却率は全国平均より低い数値となっております。1床当たりの有形固定資産は全国平均より高い数値となっております。

全体総括

海部病院は、県南地域のの中核病院として、救急医療等の不採算部門や高度特殊医療等の政策医療を担いながら、経営の健全化を図っているところであります。

平成29年5月に新病院が開院し、維持管理経費や減価償却費などの費用が増加しておりますが、令和元年度には地域包括ケア病床の導入により診療収益が増加し、収支改善が図られたところであります。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により患者の受入が制限されておりましたが、今後、地域の医療ニーズに対応しながら、施設基準の積極的な取得に努め、診療収益の拡大を図ることによって経営の健全化に努めてまいります。

また、後発医薬品の使用拡大や医療器械、医薬品、診療材料の共同購入等を推進して経費削減に努めるとともに、医療器械の整備につきましては、投資効果を十分に検討したうえで戦略的に整備を行うことで、更なる経営の効率化を図ってまいります。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。